

令和2年度（2020年度） 定期監査結果報告書

1 監査の対象

(1) 対象部局

子ども未来部

(2) 対象事務

令和2年（2020年）4月1日から令和2年11月30日までに執行された財務に関する事務およびその他の事務

2 監査の期間

令和3年（2021年）1月5日から令和3年5月21日まで

3 監査の実施方法および内容

監査に当たっては、監査項目を定め、上記事務が法令等および予算の定めるところにより適正に執行されているか、経済性、効率性および有効性の観点を踏まえて執行されているかなどについて、抽出により、諸帳簿等の関係書類の確認をするとともに、関係職員から説明を聴取し、必要に応じて現地調査を実施するなど、函館市監査基準に基づき行った。

なお、各監査項目における主な着眼点は次のとおり。

(1) 予算の執行

- ア 計画的かつ効率的に行われているか。
- イ 会計区分、年度区分および予算科目は適正か。
- ウ 事務処理で法令等に違反するものはないか。

(2) 現金取扱事務

- ア 出納員その他の会計職員、企業出納員および現金取扱員以外の者が現金を扱っていないか。
- イ 現金出納簿等は正確に記帳されているか。
- ウ 収納金は適切に保管され、遅滞なく指定金融機関等に払込ままたは預入されているか。

(3) 庶務的事務

- ア 職員の服務に係る手続は適正か。
- イ 金券等の管理および使用ならびに諸帳簿の整備は適正か。

(4) 収入事務（保育所入所負担金）

- ア 調定額の算定は適正か。また，計算誤りはないか。
- イ 調定，減免，納入通知等の手続は適正か。
- ウ 滞納状況の把握，記録および督促手続等は適切に行われているか。

4 監査の結果

監査の対象とした事務について，監査した限りにおいて，次のとおり見直しを要する点が見受けられた。

(1) 意見

ア 予算の執行

子ども健全育成費で予算執行している児童福祉施設等消防用設備保守点検業務については，函館市契約条例施行規則（昭和39年規則第4号）第30条の5第1項に基づき，一施設ごとに予定価格を設定し，財務部調度課において見積合せにより業者を選定していたが，選定の結果，同一業者が複数の施設の業務を請け負っていた場合に，子ども未来部において，これら複数の施設の契約をまとめて一件の契約として締結していた。

また，一の施設に契約変更事案が発生した際の変更後の金額の算定方法や，同一の業者が請け負うこととなった複数の施設の採用価格の合計が随意契約の方法によることができる予定価格を超えた場合の取扱いなど，想定される事案についての検討がなされないまま事務を執行していた。

随意契約による場合においては，公正性の面から慎重かつ厳格に行うべきであることから，適切な事務の執行に努められたい。